

※ 解答は、《解答欄》に書きましよう。

ポイント

- ・ 社会生活の中から話題を決め、話すための材料を多様な方法で集める。
- ・ 話の論理的な構成や展開に注意して聞き、自分の考えと比べる。

高田さんのクラスでは、「これからの時代に求められる事・物・人」というテーマで学習に取り組んでいます。次は、高田さんと赤川さんの発表内容です。

【高田さんの発表】

不透明

僕の父は、「これからの世の中は、今よりも更に先が読みにくくなる。」と言います。また、「どんな未来が待っているか、不透明だからおもしろい。」とも言います。例えば、科学技術の進歩。今や3Dプリンターで家が造られる時代です。長く建築の仕事に携わっている父ですが、こんなことは十年前には考えられなかったそうです。最近では、「変化の激しい時代を生きるために、何が起ころうとも対応できる図表をもて。」が父の口癖になっています。

そこで、これからの時代を生きるうえで身につけたいものについて、僕なりに考えてみました。いろいろ調べてみて、最も参考になったのが、今治市出身の建築家、丹下健三です。

次の四枚の絵を見てください。

今治市民会館



香川県立体育館



国際連合大学



東京カトリック聖マリア大聖堂



柔軟性

これらは、丹下健三が手がけた建築物のフォルム(形)です。①同じものは、一つとしてありません。西歐的なデザインに日本の伝統建築の要素を取り入れた丹下作品は、見る人々に驚きを与えました。その中には、国の重要文化財に指定されている広島平和記念資料館本館や東京のシンボリックな建築物の一つとなっている東京都庁舎があります。また、「世界のタンゲ」とも称された彼は、日本国内にとどまらず、海外にも多くのすばらしい建築物を残しています。

世界的な賞を次々と受賞しても、勲章をもらっても、その成功や栄光にこだわらず、②唯口無口といえる建築物を生み出していった丹下健三は、まさに柔軟性に富んだ人物です。

僕は、変化の激しい時代の中で、「自分自身も変化し続ける」ことを目指したいと思います。

一千万トン

この数は、一年間に日本の家庭から捨てられる食べ物のおよその量を表しています。日本でとれる米の量が年間約八百五十万トンですから、これがいかに大きな数かが分かります。さらに、スーパーや外食産業など、食品関連の事業者が捨てる食べ物を加えると、日本の食品廃棄物は、年間で約一千七百万トンに及びます。そのうちの約四百万トンは再生利用されますが、残りの約一千三百万トンは燃やされたり埋め立てられたりしています。

賞味期限と消費期限

日本の家庭から出されるゴミの中には、手つかずの食べ物が多くあります。しかも、そのうちのおよそ四分の一は、「賞味期限前」のものだそうです。

ちなみに、「賞味期限」とは、その食品をおいしく食べることができる期限のことです。この期限を過ぎたら食べられないということではありません。つまり、賞味期限前に食べ物を捨ててしまうなんてもつてのほかだといえます。一方、「消費期限」は、保存方法をさえ守れば、ここまでは食べられるという期限です。

昆虫食

世界の人口は増える一方です。また、干ばつ、洪水、高温などの影響で、食料生産がままならない地域も増えています。そして、世界には、日本のように食料が有り余っている国があれば、飢餓に苦しんでいる国もあります。世界規模で見ると、食料の需要と供給のバランスは完全にくずれてしまっています。

国際連合食糧農業機関（FAO）は、飢餓問題の解決に向けて、食用昆虫を養殖し、食料が不足している国や地域に供給することを提案しています。虫を食べることに③（ ）をもつ人もいると思いますが、昆虫は栄養価が高く、健康的な食料であり、ベトナムやタイでは普通に食べられています。

「食」は、命につながります。人口爆発が起こるとされるこれからの時代、食の問題が今以上にクローズアップされることは容易に想像できます。毎日おいしいものを食べられる者たちが、食べ残しや手つかずの食品を平気で捨てるようなことは、絶対にやつてはならないと思います。

1 【高田さんの発表】の——線部①「同じものは、一つとしてありません」を参考にして、——線部②「唯口無口」のそれぞれの口にはまる漢字を書き、四字熟語を完成させなさい。

2 【赤川さんの発表】の——線部③（ ）に当てはまる言葉を考えます。次のアからウまでの言葉が適当であれば○を、不適当であれば×をそれぞれ書きなさい。

ア 焦燥感 イ 違和感 ウ 嫌悪感

3 次は、高田さん、赤川さんの発表について述べた文です。（ ）に当てはまる言葉を、八字以上十字以内にとめて書きなさい。

文章全体の構成に目を向けると、高田さんも、赤川さんも、（ ）を最後に位置づけている。

4 【高田さんの発表】、【赤川さんの発表】のうち、いずれか一方を選び、あなたが感じたり考えたりしたことを書きなさい。なお、解答に当たっては、あなたが選んだ方に○をつけるとともに、百二十字以上、百六十字以内にとめて書くこと。

シート 26 正答例

1 唯^一無^二

2 ア × イ ○ ウ ○

3 (例) 伝えたいこと¹の中心、最も伝えたいこと²、結論に当たる内容

4 (例1) 高田さんの発表

○僕は、「自分自身も変化し続ける」という言葉について考えた。次々と新しい技術が生まれる現代社会の中で、自分が遅れを取らないように努力することは当然だと思う。その反面、一人一人がかたくなに守り続けるものを持つことも大切だと思う。今、自分が大切にしたいのは、仕事場に時計を置かなかったエンジン³のように、泥くそ⁴い生き方だ。(158字)

(例2) 赤川さんの発表

○私は、赤川さんの意見に全面的に賛成する。私の祖母の口ぐせは「もったいない」という言葉だ。祖母の家では、必要なときに必要な分だけ野菜を収穫し、使い切る。食事が少しでも余ると、犬のえさや肥料にするという徹底ぶりだ。これからの時代、祖母のような考え方を一人一人がもつべきだと思う。(138字)